

平成27年度 「事業計画・収支予算」決まる

3月27日(金)臨時議員総会が開催され平成27年度事業計画・収支予算が決定しました。

さあ、“オール舞鶴”で前進です！

わが国の経済は、多くの経済指標が改善を示すように、全体としては明らかに回復の道をたどっており、20年続いたデフレを脱却しつつあります。経済の好循環を実現するためにはデフレ脱却を確かなものにし、賃上げや雇用拡大を通じて消費を活性化させることが欠かせません。しかしながら、地方における中小企業を取り巻く経営環境はまだまだ厳しいという現実があります。

こうした中で、将来に明るさを感じることができ“新しい時代”が、私たちのまちにやってきました。ことしは、京都縦貫自動車道が全線開通し、本市をとりまく高速道路網の未整備区間が解消され、近畿・北陸・中部を結ぶ高速道路網が完成します。また、京都舞鶴港のさらなる機能強化が図られることで、この京都府北部において、陸路・海路を通じた「人」「モノ」

の流れが飛躍的に増えることとなります。

かつてない大きなチャンスが到来する平成27年度において、私たち経済界がこの最大の好機を活かせるかどうか、大いに問われる年でもあります。今こそ、舞鶴のさらなる飛躍に向けて“オール舞鶴”で前進することが求められています。自分たちが暮らし、そして子や孫が何代も暮らし続けられる地域づくりのために、前進する気概と、自信と明るさを持ち、当商工会議所は市民と共に頑張っまいります。

平成27年度の当商工会議所の運営にあたっては、役員・議員・会員が一丸となって現場に立脚した活動を鋭意進めることで、「会員になって良かった」と実感していただけるように、そして社会全体からより多くの支持と信頼がいただける商工会議所を目指します。

基本方針

1. 企業活動を通じて、まちを創る

企業活動をする上で、「まち（地域）」はビジネス現場であり、その従業員を含む市民の生活の場でもあることから、「まち（地域）」が元気になることは極めて大切です。そして、地域の経済と雇用を支えている中小企業を活性化し、元気な企業を増やすことで豊かなまちづくりに貢献したいというのが私たち商工会議所の願いです。

私たちのまちでは、今、「住んでよし、働いてよし、訪れてよしの『選ばれるまちづくり』」の実現に向けた取り組みが進められています。私たちの企業活動を通じて、住んでいる人には日々の暮らしの「良質なサービス」、働く人には能力に応じた働く場の「確保と生

きがい」、そして訪れる人には「感動と喜び」を満足していただける形で提供したいと思っています。

「人口減少」という社会潮流の中で、私たちのまちは“海の京都”事業の積極的な推進によって「人」「モノ」の流れが飛躍的に増大し、観光、ビジネスなど交流人口の一層の拡大が期待されます。この大きなビジネスチャンスをしっかりと成果に繋げるためには、私たち商工会議所が率先して地域のリーダー役となって商店主や市民を巻き込んで、儲かる商売に繋がる“知恵と工夫”を絞り出していかなければなりません。

また、創業には多くの困難を伴いますが、それをなし遂げることができれば、創業者だけでなく従業員や